

## VIII まとめ

本技術検討専門委員会では、三重県桑名市五反田事案でこれまで実施されてきた対策の検証及び新たな調査の結果に基づき、生活環境保全上の目標である「不法投棄地周辺地下水及び嘉例川が環境基準を達成した状態が保たれている」ことを達成するための必要な恒久対策について、安全性、環境修復技術の確実性、目標達成までの期間、経済性及び関係者との合意形成の5つの視点で科学的・技術的に適用可能な対策工法の検討を行った。

当該事案での技術的な検討は、本技術検討専門委員会での議論に先立ち、三重県の委託により北海道大学において約2年間にわたり調査・解析・検討を進めてきたこともあり、これまでに例をみないほど詳細に不法投棄現場の状況が把握できたところである。

今後、本委員会での検討を踏まえ、恒久対策について産廃特措法に基づく実施計画を策定し、速やかに環境修復対策を講じられることが望まれるところである。

なお、計画策定においては、周辺住民等とのリスクコミュニケーションが重要であり、不法投棄に係る環境修復の不確実性からなる周辺環境への潜在的なリスクへの対応策（フォローアップ）も含めて、ステークホルダーとの十分な意見交換を行い、対策工法が決定されることが必要である。また、対策の進捗状況に関する情報交換・共有方法や、それら情報が容易に入手できる仕組み作りも併せて望まれるところである。

最後に、1,4-ジオキサンによる汚染地下水浄化については、これまで国内において浄化事例がないことから、本環境修復事業で得られた技術的知見を公開し、当該事案の対策で得られた成果が他の環境修復現場で活用されることを期待している。